

標題	生活研究協議会活動の強化に向けた研修会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和7年4月18日		場所	西予市教育保健センター
指導対象	西予生活研究協議会(27人)		連携機関	西予市
普及指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ○当班は、会員が共通認識を持って意欲的に取り組めるよう、研修会の開催を支援した。 ○「生活研究グループ活動、これからに向けて」をテーマに、日頃の思いや今後の方向性などの意見交換を行った。 			
結果と今後	<ul style="list-style-type: none"> ○会員からは、「若い世代と交流することで、技術を継承したい」「レシピ化できていない郷土料理の講習会を開催したい」といった前向きな意見が多く出された。 ○インターネット販売が普及している現代において、郷土料理の対面販売や伝承活動は、世代を超えて交流できる貴重な機会であることを再確認できた。 ○今年度は、小中学生を対象にした食文化講座や組織研修会、「かかCの市」の実演販売等を実施予定。 ○当班は、今後も組織活動強化に向けた取り組みを支援する。 			
			<p>【かかCの市】 昭和59年に開始した産直活動。どんぶり館で毎週日曜日にはら寿司や惣菜類、蒸し饅頭などの実演販売を通して消費者交流を図っている。</p>	
	意見交換	かかCの市		

標題	★小麦・はだか麦の防除本格化に向けて		機関名	○○地方局地域農業育成室
年月日	令和7年4月7日		場所	西予市宇和地区(JA東宇和カントリーエレベーター)
指導対象	西予無人ヘリ防除連絡協議会(20人)		連携機関	JAひがしうわ
普及指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ○無人ヘリによる病害防除を行うため、麦の生育状況に応じた赤かび病防除と安全操作に関する講習会を開催。 ○赤かび病菌は人や家畜に有毒なかび毒であり、小麦に含まれるデオキシニバレノール(DON)の基準値が1.0ppmを超えると食品衛生法上、流通することができない。 ○このため、今年産麦の生育ステージ等を情報提供し、開花期以降の適期防除に備えた。 			
結果と今後	<ul style="list-style-type: none"> ○4月21日からヘリ防除を開始し、小麦は2回、はだか麦は1回実施する計画(状況に応じて応急防除を追加)。 ○当協議会は、宇和地区内の水稻・麦・大豆の防除を担っており、担い手の負担軽減のため、無人ヘリによる防除体系をしっかりと支援する。 			

【西予無人ヘリ防除連絡協議会】 宇和4地区(中川、郷内・西山田、中央、田之筋・伊賀上)で各1機保有し、農家からの申し込みに応じて防除を請け負う。 R6は水稻806ha、麦386ha、大豆261haで防除を実施。		
<p>説明する普及職員(左奥)</p>		無人ヘリ安全講習